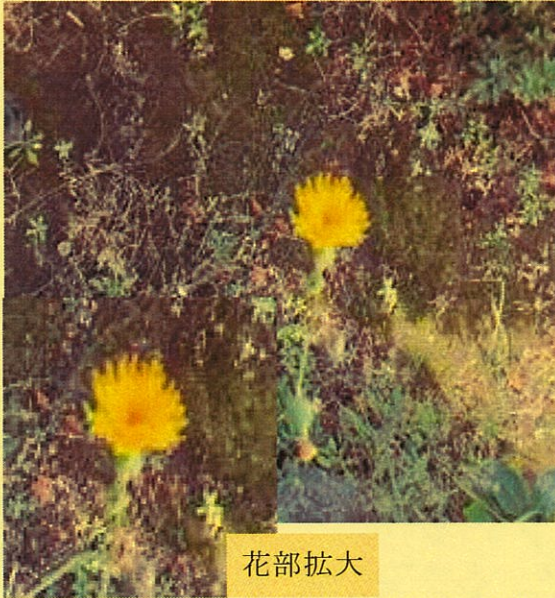


3サンハイツせけんばな紙

第 16 号

令和5年3月1日

編集責任者
田島康弘(3-101)
作成責任者
渡邊芳憲(9-503)
編集委員
小松清明(10-501)



花部拡大

ホソバノゲシ(細葉野芥子)
5号棟の西側、建物と生垣の間に生えていて高さが40〜50cmありました。よく荒れ地や砂利?碎石(バラス)などで自生していると云われています。ノゲシと似ていますが、葉の形や付き方が異なります。ノゲシやホソバノゲシは、「ケシ」が付きますが、ケシ科とは全く別のキク科で、この写真のように、黄色のタンポポのような花が春から秋に咲きます。この写真の撮影は、昨年12月で、暖地なので咲いたのでしょうか。茎の高さは普通50〜100cm程と高く、軟らかく、中に空洞があります。茎や葉を切ると白い乳液がでます。日本には有史以前に入ってきたものと思われています。

団地内の野草

田島康弘(3-101)

3月行事予定

コロナの発生状況、天候などによって、中止もあり得ます。事前に確認をお願いします。

- 2日(木)・公立高校入試(1日目)
- 3日(金)・公立高校入試(2日目)
- 4日(土)・鴨池中学校父親セミナー 定例会
- 9日(木)・火災予防運動の日(毎月9日)
- 10日(金)・鴨池中学校 立志のつどい
主催 鴨池中学校父親セミナー
9:45~11:35 鴨池中学校体育館 一般の方も傍聴・見学できます(東門からのみ入校可)
第1部 講演会 講師 鹿児島レブナイズ代表取締役社長(COO) 有川久志さん(鴨中OB)
テーマ 鴨中発一プロスポーツで鹿児島を盛り上げる
第2部 バスケット対決 鹿児島レブナイズスタッフ VS 鴨中バスケット部
- 13日(月)・鴨池小学校 特別支援学級修了式
・鴨池中学校 卒業式予行・同窓会入会式・卒業式準備
- 14日(火)・鴨池中学校 卒業式
- 15日(水)・公立高校合格発表
- 23日(木)・鴨池小学校 卒業式
- 24日(金)・鴨池小学校 修了式・辞任式
・鴨池中学校 修了式
- 26日(日)・臨港道路進捗説明会 17:00~18:00 鴨池校区公民館(鴨池小学校松林奥)
- 27日(月)・鴨池中学校 離任式

※お申し込み・お問合せ

鴨池校区コミュニティ協議会事務局 ☎099-285-1522(月・水・金 9:00~12:00 祝日休み)

東日本大震災について I

渡邊芳憲 (9・503)

■はじめに

今日11日は、2011年(平成23年)に発生した東日本大震災から12年目に当たります。

この機会に、もう一度東日本大震災を振り返って今後の教訓にしたいと思えます。

2011年(平成23年)3月11日14時46分18秒、宮城県牡鹿(オジカ)半島の東南東沖130km(北緯38度06分、東経142度51分、深さ24km)を震源とする地震が発生しました。気象庁発表の地震規模を表わすマグニチュードはモーメントマグニチュード(Mw)9.0(気象庁マグニチュードMjでは8.4)とされています。ちなみにアメリカ地質研究所では、Mw9.1としています。

震源域は、岩手県沖から茨城県沖までの南北500km、東西200kmの約10万km²でした。

最大震度は、宮城県栗原市で観測された震度7でした。

この地震は、東北地方太平洋沖地震と呼ばれています。また、この地震は1923年(大正12年)の大正関東地震(Mj7.9、Mw7.2)を上回る日本観測史上最大の地震であり、世界でも、1900年以降でも4番目に大きな超巨大地震でした。

■この地震の特徴

① 北アメリカプレートと、その下に沈み込む太平洋プレートの境界部にある日本海溝で発生した海溝型地震であったこと。

② 単独の海溝型地震ではなく、同時に複数の海溝型地震が発生した連動型地震であったこと。

③ Mw9.0以上の、超巨大地震であったこと。

④ 震源域が南北に長く、並行する本州・東日本の広い範囲で強く揺れた。また、減衰しにくい長周期の地震動によって、名古屋、大阪などでも揺れを観測したこと。

⑤ 地震動が東日本全域で6分以上継続し、強い揺れとして体感された。長周期地震動では10分以上、超長周期地震動(周期が数百秒以上)で地球全体が

最も揺れやすい)も数10時間観測されたなど揺れが長時間続いたこと。

⑥ (一見すると④、⑤と矛盾するように感じますが)地震の規模に比べて長周期の揺れは小さく、短周期の揺れが主体であったことから、地震による直接の家屋被害は比較的起きにくかったと言われています。しかし、これは、地震規模に比較してのことであり、実際は、宮城県、福島県を中心に広い範囲で家屋被害が発生していました。

⑦ 東北・関東・北海道などの太平洋岸に数メートル以上の巨大津波が発生し、内陸の浸水が広い範囲に及んだこと。

⑧ 東日本全域にわたり東方向への大きな地殻変動があり、東北太平洋岸の地盤沈下などが発生した

⑨ 関東地方の津波の影響を受けなかった埋め立て地を筆頭に液化化現象が現れたこと。

⑩ この地震が発生する前の3月9日、前震とみられるマグニチュード7.3、最大震度5弱の地震が三陸沖で発生し、その余震(震度1以上)が、3月11日午前中まで続いていたこと。

などが挙げられています。

②の連動型地震についてですが、それまでは、地震学界でも、一部で認識されつつある状態で、強く認識されていないという状況だったそうです。言うなれば、この地震は「想定外」であったと言うことになります。

■名称について
また、気象庁は、東北地方太平洋沖地震(正式名称「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」と東日本大震災の関連について、

◎東北地方太平洋沖地震は、地震の名称であり、◎東日本大震災は、災害の名称である

と回答しています。

さらに、東日本大震災には、福島第一原子力発電所の事故も含むとしています。

また、発生した日付けから、3・11(さんてんいちいち)、311(さんいちいち)と呼ぶこともあり、被害について

この地震での被害についてですが、2021年(令和4年)3月10日時点で、震災によって亡くなられた方、行方不明の方は1万8425人となっています。(以下、途中まで「死者」、「行方不明者」とさせていただきます。)

死者のうち、宮城県 9千543人、岩手県 4千675人、福島県 1千614人となっています。

死者、行方不明者の計が1万人を超えた震災は、戦後初であり、明治以降でも、関東大震災(1923年の、前述した大正関東地震)及び明治三陸地震(1896年、明治29年)に次ぐ被害規模だったようです。建築物の全壊・流失・半壊は40万5166戸となっています。参考として、鹿児島市の総世帯数27万9644世帯を持ってきました。適当な数字がなかったの

でこれを使いました。1世帯1戸としてもとても及ばない数字です。

また、津波の浸水面積は、561km²。これを、鹿児島市の総面積547.57km²と比べると、鹿児島市(山も含めて)が全没してもまだ足りないと言うほどの広さです。

生還された方々、亡くなられた方々双方にドラマ(この場合、この言葉は使いたくないのですが、良い言葉を思いつきません)があります。

防潮扉、防水扉を閉めるために、出動した防災支援ボランティアである消防団員の方々、254名が犠牲になられています。

また、防災放送で、最後まで避難を呼びかけ続け、津波にのまれて亡くなられた方もおられました。

石巻(イシノマキ)市立大川小学校(宮城県)では、校庭にとどまるべきか、裏山に逃げるかを議論し、同校が3.7km内陸に位置しているとして、結局校庭にとどまる判断をし、その結果、生徒108人中74人が亡くなり、先生方も10人が亡くなりました。

これらの方々の事を考えると、喉が詰まり、嗚咽が漏れそうになります。多くの希望もありました。

世界各地からの熱い支援。世界から賞賛されたパニックにならず、整然と行動する民族性。

一方、現場が被害を食い止めるために躍起になっているところを訪れた時の首相。大誤報を報じた新聞もありました。【5月号での続報を予定しています】